

令和 3年 6月 23日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：医療法人社団 水澄み会 グループホームもやいの家うのはな
施設種類：認知症対応型共同生活介護

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議の開催を中止とし、参加予定の方々へは文書により事業所活動の報告を行い、意見をいただく事とした。

文書配布：

利用者	人	知見を有する者等	人
利用者家族	9人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			人

【報告内容】

1. 現況、活動状況報告

利用者様状況

- ・女性 9名の方ご利用中
- ・介護度 ①・・・4名
②・・・3名
④・・・2名
- ・平均介護度 2.0
- ・利用者様年齢 80歳代・・・4名
90歳代・・・5名
- ・平均年齢 91.4歳
- ・新規入居者、退去者無し。
- ・感染症予防について
コロナワクチン接種1回目終了（5/24）
接種による体調不良について、利用者様からの特段の訴えはなく経過している。職員は腕が上げにくいという者もいたが、2日くらいで落ち着く。
2回目接種は6/14予定。
利用者様の朝・夕の検温や職員の出勤前・出勤時の体温確認継続中。
益田市内で感染の報告が続いている為、面会中止の措置をとっている。
- ・入院、事故など

入院：無し。

事故：右上腕骨折の事故。食事を右手で食べられていたが、途中から左手で食べ始めたことで発見される。入院されず、ギプスと痛み止めで療養中。

活動状況

- ・誕生日会・・・4月生まれの方1名、5月生まれの方2名、ちらし寿司のお膳でお祝いをさせていただく。
- ・畑作り・・・野菜の苗を植える予定 天気の良い日に畑を耕し、草取りをしている。
- ・朝のラジオ体操・昼前体操及び、立位⇔座位運動も継続中。散歩や外気浴、また、天気の悪い日は下肢運動器具や階段を使った運動で体力維持と気分転換を図っている。

2、身体拘束等の適正化の取り組み

第1回 虐待防止・身体拘束廃止委員会報告

現状報告

- ・身体拘束を行っている事案はなし。
- ・3名の方にセンサーチャイムを使用中。
お客様が起きられた理由がトイレであるとは限らない。意向を伺い、職員側の決めつけや思い込みで対応する事の無いよう、再度申し合わせる。
- ・第1回虐待自己チェックを実施。
「おやつの時間、入居者様に交わり共に過ごすよう配慮している」という設問について検討する。現状や・職員の思いや実践状況を話し合う。今後のさらなる実践として、「ごく短時間でも、そのひと時・その場をお客様と一緒に過ごす」ことを行動目標とし取り組んでゆく。

3、今年度の取り組みについて

- 1、利用者様の体調等持っておられるリスクに早めに対応することで、入院・退居を防ぐ
- 2、利用者様の「できること支援」で身体的・精神的安定を目指す
- 3、職員の力量向上・働きやすい職場作り
- 4、地域に発信する事業所となる

上記のことを今年度の事業所目標として、また職員一人一人がこれらの達成に向け個々に目標を立て、活動していく。

【寄せられたご意見】

13名の方に文書を送らせていただき、10名の方からお返事を頂いた。

<ご意見>

- ・虐待自己チェックの結果、「ごく短時間でも、そのひと時・その場をお客様と一緒に過ごす」を行動目標とされたことで、利用者との時間が今までより増えるといいなと思う。
- ・コロナワクチン1回目が混乱なく終わられたようで安心した。
- ・ワクチン接種後のことを心配していたが、何事もなく良かった。早く面会できますように。
- ・毎日の取り組み、一人ひとりのことを考えながら日々を過ごされることに感謝しております。
- ・思わぬ骨折事故をしてその後の生活が不自由な中、いつも以上にお世話になり心配をおかけしております。「身体を支えるのも左手だから不安定で、これ以上転びなさんなよ」と病院から言われました。ゆっくり治ってくれたらいいが、と思います。
- ・コロナ禍の中大変な時、職員の皆様には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございます。

以上